

2022光ヶ丘秋祭り実施レポート

去る11月13日(日)、当自治会の一大イベントである「光ヶ丘秋祭り」を、「サークルひまわり」の協力の下、第一光ヶ丘公園にて開催しました。当初は、8月20日、3年ぶりの夏祭り開催を予定していましたが、新型コロナ感染が急拡大したため、時期をずらし、秋祭りとして「少し遅れたハロウィン」と銘打って開催することにしました。以下、秋祭りの実施状況をご報告します。

まず、午前9時より、会場となる第一光ヶ丘公園にてテント、機材の搬入・設営を行うとともに、ハロウィンパレード用の山車の飾りつけ等を行いました。また、午後からは模擬店(肉まん、あんまん、カップヌードル、スナック菓子、飲料等)の準備を始めました。また、イベント関係ではヨーヨー釣り、スーパーボールすくい、射的の準備も始め、午後3時まですべての準備が整いました。天気は、幸いにも、午後からは風も収まり、絶好の祭り日和となりました。

また、今回はコロナ感染防止のため、祭りに参加される方は、全員、マスク着用の上、受付で検温、消毒を行い、手首に光るブレスレットを付けてもらうことにしました。また、11月に入ってからコロナ感染再拡大の兆候が見られたため、予定していたアルコール類の販売は急遽取りやめることにしました。

午後2時30分頃から、最初の催し物である「ハロウィンパレード」に参加する子供たちが三々五々集まってきました。各々ハロウィン用メイクアップをしながら、開会式を待ちました。



開会宣言をする進士実行委員長



飯田自治会長挨拶



尾崎市長来賓挨拶

定刻の午後3時に「開会式」が行われ、進士実行委員長の開会宣言、続いて自治会の飯田会長、来賓の尾崎市長の挨拶の後、山車を先頭に、ハロウィンパレードが公園を出発しました。



ハロウィンパレードの大行列



トリックortリートでお菓子をもらう子供たち

パレードは光ヶ丘住宅内の幅の狭い道路を一周するコースで、途中2か所で子供たちが「トリックortリート」と声を上げ、お菓子とジュースをもらうことにしていました。ところが予想をはるかに超える100名以上の子供たちが参加し、付き添いの大人を含めると150人程の一大パレードとなったため、「トリックortリート」を半分ずつに分けて実施し、お菓子とジュースを分け合いました。パレード終了後は、仮装した子供たちがハロウィンデコレーションの撮影場所で記念撮影をしていました。

ハロウィンパレードが終了した3時30分頃、「模擬店」が開店となり、また、ヨーヨー釣り、スーパーボールすくい、射的等のイベントも始まり、参加者は各々好みの店に向かいました。想定より大勢の方が参加されたためか、模擬店、イベントとも売り切れが続出しました。



サークルひまわり及び自治会による模擬店

特に今回初めての「射的」には長い行列でき、途中で渡す景品が無くなるほど好評でした。



上からヨーヨー釣り、
スーパーボールすくい、射的

午後4時になり、柏葉さんたちによる「ハーモニカ演奏」が始まりました。赤とんぼ、夕焼け小焼け等懐かしい童謡が演奏され、今回も盛り上がった演奏会となりました。



柏葉さんたち
によるハーモ
ニカ演奏

ハーモニカ演奏が終わって、4時20分に「盆踊り」が始まりました。サークルひまわりの協力を得て、恒例の東大和音頭・アンパンマン音頭、ダンシング・ヒーローのほか、今流行の「マツケンサンバ」が新たに加わりました。飯田会長も「マツケン」の衣装を着て、にぎやかに楽しく踊り、観客を楽しませてくれました。



サークルひまわり
による盆踊り

盆踊りの後はお楽しみの「花火大会」が始まりました。初めに「子ども花火」で子供たちが楽しんだ後、お待ちかねの「仕掛け花火」で、最初に、3つの「噴き上げ花火」がいっせいに打ち上がり、みんな歓声を上げていました。その後、「お花畑花火」と続き、最後は、恒例の「ナイアガラの滝」で、去りゆく秋を惜しむように見入っていました。



子ども花火



仕掛け花火(上から、噴き上げ花火、お花畑花火、ナイアガラの滝)

全てが無事終了し、午後5時30分閉会宣言となりました。

最後に、周辺道路警備を東大和市消防団第4分団に、会場周辺の警備を環境部はじめボランティアの方々に担当していただき、ありがとうございました。また、会場設営、模擬店の準備・販売にご協力いただいた実行委員、自治会役員、サークルひまわり、および有志の方々に深く感謝いたします。

2022年11月吉日
光ヶ丘秋祭り実行委員会